

学校法人北海道武蔵女子学園 平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1 法人の概要

1 法人と設置する学校・学科

法人名	学校法人 北海道武蔵女子学園 (理事長 篠田泰伸) 昭和42年1月設立		
設置する学校	北海道武蔵女子短期大学		
	設置学科	教養学科 (昭和42年開設)	
		英文学科 (昭和49年開設)	
	経済学科 (平成 7年開設)		

2 建学の精神と教育理想

(1) 建学の精神

限りない発展の可能性をもつ北海道の地に、斬新にして充実した女子の高等教育を行う短期大学をとの思いから、東京・武蔵大学の同窓有志と地元有力者により、昭和42年に北海道武蔵女子短期大学が開学されました。

本学は、すぐれた知性、清純な気品、実践への意欲という「知・情・意」を兼ね備えた教養豊かな現代女性を養成することを教育理想とし、特に学生と教員との人間的交流を基盤とする少人数教育を行うことを最大の特色としています。

(2) 教育理想

真理を求めいつくしむ知性ある女性

愛に生き信念に生きる気品ある女性

人類文化の発展に尽す意欲ある女性

3 沿革

1967年(昭和42年) 北海道武蔵女子短期大学(教養科 入学定員100名) 開学
教養科に図書館司書課程を付設

1968年(昭和43年) 教養科に秘書(セクレター) 課程を付設

1972年(昭和47年) 学校歌「ライラック讃歌」制定

1974年(昭和49年) 英文学科(入学定員100名)を増設
英文学科に教職課程を併設
教養科を教養学科に名称変更

1975年(昭和50年) 伊藤記念図書館竣工

1976年(昭和51年) 教養学科入学定員変更(100名→200名)

1986年(昭和61年) 英文学科臨時定員増(臨定50名により100名→150名)

1995年(平成 7年) 経済学科(入学定員70名)を増設
入学定員変更(教養学科200名→160名、英文学科150名→120名)

- 2000年(平成12年) 英文学科臨時定員の恒常定員化
教養学科に学芸員基礎資格特設講座を開講
- 2004年(平成16年) 秘書(セクレター)課をビジネス教養課程に改称
- 2005年(平成17年) 英文学科の教職課程廃止
- 2010年(平成22年) 入学定員変更(教養学科160名→185名、英文学科120名→135名、
経済学科70名→80名)
- 2013年(平成25年) 入学定員変更(教養学科185名→180名、英文学科135名→100名、
経済学科80名→70名)
- 2013年(平成25年) 教養学科の学芸員基礎資格講座廃止
- 2017年(平成29年) 入学定員変更(教養学科180名→200名、英文学科100名→120名、
経済学科70名→80名)

4 学科の入学定員、学生数の状況(平成29年5月1日時点)

単位:人

年次	学 科	入学定員	入学者数	在籍者数
1 年	教養学科	200	239	239
	英文学科	120	125	126
	経済学科	80	86	86
	小 計	400	450	451
2 年	教養学科	180	—	214
	英文学科	100	—	104
	経済学科	70	—	82
	小 計	350	—	400
合 計		750	450	851

5 役員・評議員・教職員の概要(平成29年5月1日現在)

(1) 法人役員・評議員

理事 7人、監事 2人、評議員 15人

(2) 専任教職員

・教育職員 30人

教養学科 14人(教授 5人、准教授 7人、講師 2人)

英文学科 9人(教授 5人、准教授 4人、講師 0人)

経済学科 7人(教授 3人、准教授 2人、講師 2人)

・事務職員 21人

2 事業の概要

本学の平成29年度における事業の概要を報告いたします。

1 学科別入学定員及び在籍学生数の状況

(人)

学 年	学 科	入学定員	在籍者数の推移			
			平29年4月初旬	退学者数	卒業者数	平30年3月末日
1 年	教 養	200	239	3	—	236
	英 文	120	126	0	—	126
	経 済	80	86	1	—	85
	計	400	451	4	—	447
2 年	教 養	180	214	2	210	2
	英 文	100	104	1	101	2
	経 済	70	82	0	80	2
	計	350	400	3	391	6
合 計		750	851	7	391	453

卒業者数の()は、内数として9月卒業者の数を表す

2 施設・設備・制度等の整備概況

事業区分		項目
1	教育設備・機器の整備	① 1号館3階131教室什器入替
		② 2号館2階200教室什器入替
2	施設設備・備品等の整備	① 4号館4階441教室内照明LED化工事
		② 構内舗装工事
		③ 印刷機更新
		④ 就職支援資料室空調設備工事
3	教育活動	① クラブ活動用楽器購入費補助金
4	図書館	① 集密書架設置
5	安全・衛生・防犯対策	① 傷病者運搬用ストレッチャー購入

3 卒業後の進路状況(平成 30 年 3 月末日時点)

(人)

区分	教養	英文	経済	合計	備考
卒業（予定）者数	210 (233)	101 (113)	80 (84)	391 (430)	
就職希望者数	205 (225)	91 (105)	77 (83)	373 (413)	
就職を希望しない者	5 (8)	10 (8)	3 (1)	18 (17)	四大編入、海外留学、専門学校進学等
就職者数	192 (211)	89 (102)	70 (80)	351 (393)	
就職決定率(%)	93.7 (93.8%)	97.8% (97.1%)	90.9% (96.4%)	94.1% (95.2%)	就職希望者に対する就職者数の割合
就職率(%)	91.4% (90.6%)	88.1% (90.3%)	87.5% (95.2%)	89.8% (91.4%)	卒業（予定）者数に対する就職者数の割合

() は前年度の数値

3 財務の概要

1 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究その他の諸活動に対応する全ての資金の収入および支出の内容を明らかにすること、支払資金の顛末を明らかにすることを目的として作成します。次表は、本学の平成25年度から平成29年度まで5年間の資金収支計算書の推移です。

<資金収支計算書>

収入の部

(単位：千円)

年 度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
学生生徒等納付金収	759,262	38.8%	842,868	47.3%	878,782	47.1%	862,885	41.9%	883,776	39.9%
手数料収入	22,579	1.2%	25,823	1.4%	21,118	1.1%	23,799	1.2%	20,262	0.9%
寄付金収入	1,100	0.1%	6,300	0.4%	9,400	0.5%	1,755	0.1%	2,024	0.1%
補助金収入	101,155	5.2%	94,081	5.3%	78,059	4.2%	77,809	3.8%	108,457	4.9%
資産売却収入	211,568	10.8%	7,575	0.4%	64,158	3.4%	170,000	8.3%	159,757	7.2%
付随事業・収益事業収入	64	0.0%	52	0.0%	34	0.0%	38	0.0%	98	0.0%
受取利息・配当金収入	6,420	0.3%	5,554	0.3%	7,585	0.4%	5,559	0.3%	4,074	0.2%
雑収入	24,568	1.3%	42,273	2.4%	36,052	1.9%	2,594	0.1%	32,777	1.5%
借入金等収入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
前受金収入	298,287	15.2%	328,591	18.4%	296,272	15.9%	332,066	16.1%	302,384	13.6%
その他の収入	227,131	11.6%	80,940	4.5%	118,804	6.4%	46,877	2.3%	11,175	0.5%
資金収入調整勘定	△ 342,509	△17.5%	△ 346,722	△19.5%	△ 363,823	△19.5%	△296,272	△14.4%	△371,497	△16.8%
前年度繰越支払資金	647,175	33.1%	694,379	39.0%	718,066	38.5%	831,907	40.4%	1,063,239	48.0%
収入の部 合 計	1,956,803	100.0%	1,781,716	100.0%	1,864,509	100.0%	2,059,020	100.0%	2,216,531	100.0%

支出の部

年 度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
人件費支出	523,732	26.8%	581,191	32.6%	608,745	32.6%	511,829	24.9%	555,029	25.0%
教育研究経費支出	190,067	9.7%	171,265	9.6%	213,829	11.5%	174,329	8.5%	174,968	7.9%
管理経費支出	85,684	4.4%	97,272	5.5%	88,430	4.7%	88,230	4.3%	101,359	4.6%
借入金等利息支出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
借入金等返済支出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
施設関係支出	11,550	0.6%	7,777	0.4%	1,712	0.1%	21,952	1.1%	13,003	0.6%
設備関係支出	35,301	1.8%	46,857	2.6%	22,403	1.2%	24,615	1.2%	27,014	1.2%
資産運用支出	251,712	12.9%	156,932	8.8%	59,866	3.2%	141,486	6.9%	158,044	7.1%
その他の支出	234,486	12.0%	77,418	4.3%	81,924	4.4%	45,309	2.2%	12,030	0.5%
資金支出調整勘定	△ 70,110	△3.6%	△ 75,064	△4.2%	△ 44,310	△2.4%	△ 11,972	△0.6%	△55,433	△2.5%
翌年度繰越支払資金	694,379	35.5%	718,066	40.3%	831,907	44.6%	1,063,239	51.6%	1,230,514	55.5%
支出の部 合 計	1,956,803	100.0%	1,781,716	100.0%	1,864,509	100.0%	2,059,020	100.0%	2,216,531	100.0%

※平成 26 年度以前の科目は学校法人会計基準改正後の区分および科目に組替えて表示している。

※金額は 1,000 円未満を切り捨てて表示している。

2 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにし、基本金組入後の収支の均衡を明らかにすることを目的として作成します。次表は、本学の平成25年度から平成29年度まで5年間の事業活動収支計算書の推移です。

<事業活動収支計算書>

(単位：千円)

区分		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	759,262	842,868	878,782	862,885	883,776
		手数料	22,579	25,823	21,118	23,799	20,262
		寄付金	1,601	7,096	5,788	2,539	3,354
		経常費等補助金	101,155	94,081	78,059	77,809	100,628
		付随事業収入	64	52	34	38	98
		雑収入	24,568	42,273	36,445	2,594	33,015
		教育活動収入計	909,232	1,012,196	1,020,227	969,666	1,041,136
	支出	人件費	525,159	578,397	610,398	512,551	555,647
		教育研究経費	265,964	250,383	295,857	254,474	255,352
		管理経費	96,828	108,173	98,627	97,024	110,299
		徴収不能額等	0	701	0	1,726	0
教育活動支出計		887,952	937,655	1,004,883	865,777	921,299	
教育活動収支差額		21,280	74,540	15,344	103,889	119,836	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	6,420	5,405	7,356	5,283	3,894
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	6,420	5,405	7,356	5,283	3,894
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		6,420	5,405	7,356	5,283	3,894
経常収支差額		27,700	79,945	22,700	109,173	123,730	
特別収支	収入	資産売却差額	5,043	1,186	483	0	0
		その他の特別収入	0	0	5,000	0	7,829
		特別収入計	5,043	1,186	5,483	0	7,829
	支出	資産 処分 差額	960	628	501	1,469	1,966
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	960	628	501	1,469	1,966
	特別収支差額		4,082	557	4,982	△1,469	5,862
基本金組入前当年度収支差額		31,782	80,503	27,682	107,703	129,593	
基本金組入額合計		△ 2,543	△ 58,237	△53,649	△ 33,319	△6,116	
当年度収支差額		29,239	22,265	△25,966	74,384	123,477	

(参考)

事業活動収入計	920,695	1,018,787	1,033,068	974,950	1,052,859
事業活動支出計	888,913	938,283	1,005,385	867,246	923,266

※平成 26 年度以前の科目は学校法人会計基準改正後の区分および科目に組替えて表示している。

※金額は 1,000 円未満を切り捨てて表示している。

3 貸借対照表

貸借対照表は、当該会計年度末の財政状態を表したもので、資産・負債・純資産の内容および残高を明らかにすることを目的として作成する計算書です。学校法人の純資産は、基本金と繰越収支差額より構成されています。次表は、本学の平成25年度から平成29年度まで5年間の貸借対照表の推移です。

<貸借対照表>

(単位：千円)

区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
固定資産	4,476,011	4,521,819	4,260,097	4,168,722	4,236,522
有形固定資産	4,079,598	4,044,383	3,977,580	3,934,604	3,884,972
特定資産	100,708	74,401	46,096	47,964	46,529
その他の固定資産	295,703	403,034	236,420	186,153	305,019
流動資産	737,220	805,380	1,026,078	1,227,824	1,303,250
資産の部合計	5,213,231	5,327,199	5,286,175	5,396,546	5,539,772
固定負債	235,538	227,280	227,812	227,740	230,955
流動負債	376,120	417,843	348,605	351,345	361,762
負債の部合計	611,659	645,124	576,418	579,085	592,717
基本金	5,656,744	5,714,981	5,768,630	5,801,950	5,808,066
繰越収支差額	△ 1,055,172	△ 1,032,906	△ 1,058,873	△ 984,489	△ 861,011
純資産の部合計	4,601,571	4,682,075	4,709,757	4,817,461	4,947,054
負債及び純資産の部合計	5,213,231	5,327,199	5,286,175	5,396,546	5,539,772

※平成 26 年度以前の科目は学校法人会計基準改正後の区分および科目に組替えて表示している。

※金額は 1,000 円未満を切り捨てて表示している。

4 開学 50 周年記念事業

本学は平成 29 年度に開学 50 周年を迎え、以下の記念事業を行いました。

【記念ロゴマーク制定】

ロゴマークデザイン案を在学生及び卒業生を対象に公募し、ロゴマークデザイン選考委員会
が選考した最優秀賞デザインをもとにロゴマーク作成を行い、平成 29 年 3 月に記念ロゴマーク
を制定した。

【記念講演会】

7 月 1 日(土)に札幌市教育文化会館において記念講演会を開催した。

講 師：猪木武徳氏

テ ー マ：知慮と知恵－大学で何を学ぶか－

受講者数：143 名(一般 38 名、学生 56 名、教職員 49 名)

【リカレント特別プログラム】

例年実施している図書館員のリカレントプログラムについて、特別プログラムとして実施した。

日 時：平成 29 年 8 月 28 日(月) 9:40～16:20

場 所：321 教室、333 教室、5 階食堂

講 師：竹内 哲(さとる)氏

事例報告：吉田 真弓 氏(本学卒業生・元帯広市図書館長)

松永 伊知子 氏(本学卒業生・元根室市図書館長)

内藤 和代 氏(本学卒業生・元恵庭市立図書館長)

参加者数：74 名(一般 34 名、卒業生 26 名、学生 10 名、退職教員 1 名、
非常勤講師 1 名、図書館職員 2 名)

【構内舗装工事】

正門から 3 号館玄関前にかけてのアスファルト敷き直し及びインターロッキング新設により構内の美観向上を図った。

【ホームカミングデー】

大学祭開催と合わせて 10 月 7 日(土)14:00～16:00 に 5 階食堂にて開催した。本学卒業生である FP(ファイナンシャルプランナー)稲村優貴子氏による講演と同窓生親睦会を行った。

講演受講者:61 名(卒業生 44 名、教職員等 17 名)

親睦会を含む全体参加者:96 名

【記念誌】

『50 年のあゆみ』のタイトルで総数 317 ページの A 変形版冊子として開学 50 周年記念誌を 700 部発行した。平成 29 年 11 月 28 日の開学 50 周年記念祝賀会に於いて、出席者に配付し、後日、祝賀会欠席の旧教職員、道内の大学・短大、高校及び公共図書館に郵送配付した。

【大学紹介 DVD】

12 分間の本学紹介の DVD を作成した。本学の歴史と現在の様子を綴ったものとなっている。開学 50 周年記念祝賀会において上映し、記念誌と合わせて出席者に配付した。式典・祝賀会を欠席した旧教職員にも送付済み。また、次年度の高校訪問では各高校にも持参する予定。

【記念式典・祝賀会】

現旧教職員、理事等役員、来賓及び同窓生等を招いて記念式典・祝賀会を開催した。

日時:平成 29 年 10 月 28 日(土) 式典 午後 5 時 祝賀会 午後 6 時

場所:札幌プリンスホテル国際館パミール 3 階

出席者数:165 名

【特別公開講座】

総合テーマを「知の伝統と継承」として本学の元教員を講師に招いて全 3 回実施した。

〈第1回〉 日 時：平成 29 年 11 月 11 日(土) 午後 2 時

テーマ：聖徳太子と厩戸王

講 師：篠川 賢 氏(成城大学教授)

受講者数：60 名

〈第2回〉日 時：平成 29 年 11 月 18 日(土) 午後2時
テーマ：英国中世宗教劇―道徳劇の軌跡
講 師：横尾 元意 氏(仙台白百合女子大学教授)
受講者数：33 名

〈第3回〉日 時：平成 29 年 11 月 25 日(土) 午後2時
テーマ：北海道をより元気にする力学
～縮む北海道、経済活力発揮への道筋～
講 師：下川 哲央 氏(小樽商科大学特認名誉教授)
受講者数：30 名

【紀要開学 50 周年記念号の発行】

紀要第 50 号を開学 50 周年記念号として平成 30 年 3 月 31 日に発行した。

5 今後の課題

1 地域社会へのニーズに応えるための課題

本学は昨年、開学 50 周年を迎え、卒業生は約 1 万 9 千人となりました。開学からこれまで、本学は地域社会に支えられながら本学の役割を果たし、今日を迎えることができております。

この 50 周年という節目を機に、これからも地域社会のニーズに応えるため、本学の核であるところの「知性・情意・意欲を兼ね備えた女性の育成」という普遍的な教育目標を変えることなく、今の時代にマッチする形で発展させて行くことを目指して行きたいと思っております。この課題は、特色ある本学 2 年間の教育成果としての就職・進学等が、次の学生募集へと繋がり、そして受け入れた学生を有為な人材として社会へと送り出す、という不変的サイクルを少子化問題や経済事情等、現代の複雑な社会事情に合わせながらどう継続していくか、ということに他ならないと考えております。今後も引き続き一層努力してまいります。

2 自己点検・評価への取り組み

本学は、平成 19 年度の第 1 回目の第三者評価（認証評価）に続き、平成 26 年度に一般財団法人短期大学基準協会による第 2 回目の第三者評価を受け、適格認定を得ております。この平成 26 年度の第三者評価の結果を纏めた「自己点検・評価報告書」には、自ら掲げた課題のほか一般財団法人短期大学基準協会による評価結果及び評価員からの意見等を掲載し、今後取り組んで行くべき課題を明確にしました。

なお、本学独自に実施している自己点検・評価は 2 年毎に冊子（「課題への取り組み」）にまとめております。

平成 29 年度は、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）といった 3 つのポリシーについて、それぞれの関連性を意識した見直しを行いました。さらにディプロマ・ポリシーに関しては各科目単位までの関連付けをし、シラバスにも記載することによって、学生が科目を履修する際に確認できるようにしました。

また、自己点検・評価委員会では、一般社団法人北海道中小企業家同友会と提携し、3 つのポリシーと本学の教育課程について検証しましたが、検証にあたっては、同友会事務局員に参画をいただき、産業界の意見を参考としながら自己点検・評価を実施しました。

次の第三者評価は、平成 33 年度に実施する予定としておりますが、それまでに内部質保

証を意識し、さらなる学内体制の充実を目指していきたいと考えております。

3 施設設備の充実および補修改修についての課題

平成 22 年に新 3 号館が竣工し、校舎の約半分が新しくなりましたが、築 20 年以上を経過する建物も残っております。これら建物の耐震強度については、平成 18 年度に実施した補強工事により確保されておりますが、配管その他設備等において、一部古くなっている箇所も見られるため、計画的に改修を進めております。平成 27 年度から平成 29 年度にかけ、体育館運動場の床面張替え改修や、1 号館及び 2 号館の学生玄関改修、構内の舗装改修を行いました。

また、平成 29 年度は、1 号館 3 階の中規模教室（131 教室）及び 2 号館 2 階の小規模教室（200 教室）の什器更新を行い、近年盛んになってきているアクティブ・ラーニングに適した教室の整備を行うなど学修環境の維持向上に努めております。

以上